



ハイパーサーミアを説明する林院長

がんの温熱療法機器増設 今年から2台態勢で診療

西和田 林クリニック

「西和田林クリニック」は、がんの温熱療法を行う機械（ハイパーサーミア）を増設し、1月から2台態勢で診療しています。

ハイパーサーミアは、CTに似た専用の機械で体の深部に電磁波を当て、がん組織を42〜

43℃に温めて組織の縮小・消滅を目指す治療法。同クリニックは甲信越地方で唯一、この治療を行っています。

林賢院長によると、昨年5月の開院から約6カ月間で、転移がみられるなどの末期がん患者ら130人に適用。統計を取った62例のうち、がん病巣の消失が4例、半分以下に縮小したものが10例など、35%でがんの縮小傾向がみられました。

林院長は、「末期や高齢の患者さんが多い中で、悪くない治療成績といえます」と話しています。

ハイパーサーミアの治療は、一部のがんを除いて健康保険が適用され、週1回、約1時間の治療を8回行うのが原則。2台態勢になり、これまでより多くの患者に対応できるようになりました。

☎263・0884